

就労継続支援A型事業所におけるスコア表（全体）

| | |
|------|---------------------------|
| 事業所名 | レーヴ |
| 住所 | 大阪府大阪市中央区内本町1-2-14秀和ビル10F |
| 電話番号 | 06-6940-0877 |

| | |
|-------|------------|
| 事業所番号 | 2719402378 |
| 管理者名 | 末藤隆行 |
| 対象年度 | 令和5年度 |

(I) 労働時間

| | | | |
|--------------------------|---|----|---|
| ①1日の平均労働時間が7時間以上 | | 65 | 点 |
| ②1日の平均労働時間が6時間以上7時間未満 | | | |
| ③1日の平均労働時間が5時間以上6時間未満 | ○ | | |
| ④1日の平均労働時間が4時間30分以上5時間未満 | | | |
| ⑤1日の平均労働時間が4時間以上4時間30分未満 | | | |
| ⑥1日の平均労働時間が3時間以上4時間未満 | | | |
| ⑦1日の平均労働時間が2時間以上3時間未満 | | | |
| ⑧1日の平均労働時間が2時間未満 | | | |

①90点 ②80点 ③65点 ④55点 ⑤40点 ⑥30点 ⑦20点 ⑧5点

(II) 生産活動

| | | | |
|--|---|----|---|
| ①前年度、前々年度及び前々々年度における生産活動収支がそれぞれ当該各年度に利用者に支払う賞金の総額以上 | | 40 | 点 |
| ②前年度及び前々年度の各年度における生産活動収支がそれぞれ当該各年度に利用者に支払う賞金の総額以上 | | | |
| ③前年度及び前々年度における生産活動収支のうち前年度における生産活動収支のみが利用者に支払う賞金の総額以上 | ○ | | |
| ④前年度及び前々年度における生産活動収支のうち前々年度における生産活動収支のみが利用者に支払う賞金の総額以上 | | | |
| ⑤前年度及び前々年度の各年度における生産活動収支がいずれも当該各年度に利用者に支払う賞金の総額未満 | | | |
| ⑥前年度、前々年度及び前々々年度における生産活動収支がいずれも当該各年度に利用者に支払う賞金の総額未満 | | | |

①60点 ②50点 ③40点 ④20点 ⑤-10点 ⑥-20点

(III) 多様な働き方

| | | | |
|------------------------|---|----|---|
| 以下の項目を就業規則等で定めている | | 15 | 点 |
| ①免許・資格取得、検定の受検奨励に関する制度 | | | |
| ②利用者を職員として登用する制度 | ○ | | |
| ③在宅勤務に係る労働条件及び勤務規律 | ○ | | |
| ④フレックスタイム制に係る労働条件 | ○ | | |
| ⑤短時間勤務に係る労働条件 | | | |
| ⑥時差出勤制度に係る労働条件 | | | |
| ⑦有給休暇の時間単位取得又は計画的付与制度 | ○ | | |
| ⑧傷病休暇等の取得に関する事項 | ○ | | |
| 小計 | 5 | | |

5以上:15点、3~4:5点、2以下:0点

(IV) 支援力向上

| | | | |
|------------------------|---|----|---|
| 以下の項目について取組実績がある | | 15 | 点 |
| ①研修計画に基づいた外部研修会又は内部研修会 | ○ | | |
| ②研修、学会等又は学会誌等において発表 | | | |
| ③視察・実習の実施又は受け入れ | ○ | | |
| ④販路拡大の商談会等への参加 | ○ | | |
| ⑤職員の人事評価制度 | ○ | | |
| ⑥ピアサポーターの配置 | ○ | | |
| ⑦第三者評価 | ○ | | |
| ⑧国際標準化規格が定めた規格等の認証等 | | | |
| 小計 | 6 | 点 | |

5以上:15点、3~4:5点、2以下:0点

(V) 地域連携活動

| | | | |
|--|---|----|---|
| 地域の事業者と連携した付加価値の高い商品開発、企業や官公庁等での生産活動等地域社会と連携した活動を行い、その結果をインターネット等により公表している | ○ | 10 | 点 |
| 1事例以上ある場合:10点 | | | |

(VI) 経営改善計画

| | | | |
|------------------------------------|--|---|---|
| 経営改善計画書の作成対象事業所であるが、提出期限までに提出していない | | 0 | 点 |
| 未提出の場合:-50点 | | | |

(VII) 利用者の知識・能力の向上

| | | | |
|---|---|----|---|
| 前年度において、利用者の知識及び能力の向上に向けた支援を行い、当該支援の具体的な内容を記載した報告書を作成し、公表している | ○ | 10 | 点 |
| 取組が1以上ある場合:10点 | | | |

| 項目 | 点数 | | | | | | | | |
|--------|------|------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|----|
| 労働時間 | 5点 | 20点 | 30点 | 40点 | 55点 | 65点 | 80点 | 90点 | 65 |
| 生産活動 | -20点 | -10点 | 20点 | 40点 | 50点 | 60点 | | | 40 |
| 多様な働き方 | 0点 | 5点 | 15点 | | | | | | 15 |
| 支援力向上 | 0点 | 5点 | 15点 | | | | | | 15 |
| 地域連携活動 | 0点 | 10点 | | | | | | | 10 |
| 経営改善 | -50点 | 0点 | | | | | | | 0 |
| 知識・能力 | 0点 | 10点 | | | | | | | 10 |

合計

155

点 / 200点

就労継続支援A型事業所におけるスコア表（実績Ⅰ～Ⅳ）

(Ⅰ) 労働時間

| | | | | | |
|-----------------------------|--------|-------------------|--------|----------------|-----|
| 前年度（令和5年度） | | 雇用契約を締結していた延べ利用者数 | | 利用者の1日の平均労働時間数 | |
| 雇用契約を締結していた全ての利用者における延べ労働時間 | 75,845 | 時間 | 12,984 | 人 | 5.8 |
| | | 時間 | | | 時間 |

(Ⅱ) 生産活動

| | | | | | |
|-----------------|-------------|--------------|--------------|-------------|---------|
| 会計期間（4月～3月） | | | | | |
| 前々々年度（年度） | | | | | |
| 生産活動収入から経費を除いた額 | 円 | 利用者に支払った賃金総額 | 円 | 収支 | 0 |
| | | | | | 円 |
| 前々年度（年度） | | | | | |
| 生産活動収入から経費を除いた額 | 円 | 利用者に支払った賃金総額 | 円 | 収支 | 0 |
| | | | | | 円 |
| 前年度（令和5年度） | | | | | |
| 生産活動収入から経費を除いた額 | 113,540,216 | 円 | 利用者に支払った賃金総額 | 113,095,491 | 円 |
| | | | | 収支 | 444,725 |
| | | | | | 円 |

(Ⅲ) 多様な働き方

前年度（年度）における実績（全体表「(Ⅲ) 多様な働き方」の各項目において「就業規則等で定めており、前年度の実績がある」と選択した場合に実績を記載）

① 免許・資格取得、検定の受検勧奨に関する制度

| | |
|--------------------------------|-----------------|
| ① 免許・資格取得、検定の受検勧奨に関する制度を活用した人数 | 9名 |
| ※取得を進めた免許等： | ピアサポート 色彩検定 |
| 制度の活用内容： | 一般就労を見据えたスキル習得。 |

② 利用者を職員として登用する制度

| | |
|------------------------|-------------------------------------|
| ② 職員として登用した人数 | 253名 |
| ②のうち1名は雇用継続期間が6月に達している | <input checked="" type="checkbox"/> |
| ②のうち1名は前年度末日まで雇用継続している | <input checked="" type="checkbox"/> |
| ※登用した日 | 5年12月1日 |
| 勤務形態： | 正規雇用 |
| 就業時間： | 9時00分～17時00分 |
| 職務内容： | 職業指導員 |

③ 在宅勤務に係る労働条件及び勤務規律

| | |
|--------------|-------------------|
| ③ 在宅勤務を行った人数 | 235名 |
| ※実施した期間： | 4月1日～3月31日 |
| 就業時間（在宅勤務）： | 9時30分～16時30分 |
| 職務内容： | パソコン事務・動画・デザイン業務等 |

④ フレックスタイム制に係る労働条件

| | |
|--------------------|---------|
| ④ フレックスタイム制を活用した人数 | 名 |
| ※実施した期間： | 月 日～月 日 |
| 就業時間（コアタイム）： | 時 分～時 分 |
| 職務内容： | |

⑤ 短時間勤務に係る労働条件

| | |
|----------------|---------|
| ⑤ 短時間勤務に従事した人数 | 名 |
| ※実施した期間： | 月 日～月 日 |
| 就業時間（短時間）： | 時 分～時 分 |
| 職務内容： | |

⑥ 時差出勤制度に係る労働条件

| | |
|-----------------|---------|
| ⑥ 時差出勤制度を活用した人数 | 名 |
| ※実施した期間： | 月 日～月 日 |
| 就業時間（早出の場合）： | 時 分～時 分 |
| 就業時間（遅出の場合）： | 時 分～時 分 |
| 職務内容： | |

⑦ 有給休暇の時間単位取得又は計画的付与制度

| | |
|--------------------|---|
| ⑦ 時間単位取得を活用した人数 | 名 |
| ⑦ 計画的付与制度を活用した人数 | 164名 |
| ※取得した制度 | <input type="checkbox"/> 有給休暇の時間単位取得 <input checked="" type="checkbox"/> 計画的付与制度 |
| 取得した期間： | 11月19日～11月22日 |
| 取得日数・時間 | 4日 32時間 |
| 有給休暇と組合せにより計7日間の休み | |

⑧ 傷病休暇等の取得に関する事項

| | |
|----------------|--------------|
| ⑧ 傷病休暇等を取得した人数 | 9名 |
| ※取得した内容： | 傷病休暇 |
| 取得した期間： | 7月21日～8月27日 |
| 就業時間： | 9時30分～16時30分 |
| 職務内容： | パソコン事務 |

(※) 当該制度等を活用した任意の1名の実績を記載

(Ⅳ) 支援力向上

前年度（年度）における実績（全体表「(Ⅳ) 支援力向上」の各項目の取組ありとした場合に実績を記載）

① 研修計画に基づいた外部研修会又は内部研修会

| | |
|---------------|-------------------------------------|
| ① 研修計画を策定している | <input checked="" type="checkbox"/> |
| ① 研修実施回数 | 外部 17回 / 内部 30回 |
| 対象職員数 | 176名 |
| うち研修受講者数 | 229名 |
| ※研修名 | 支援力向上セミナー |
| 研修講師 | 澤田様・岩本様・家坂様 |
| 実施日・受講者数 | 3月19日・22日 2名 |

② 研修、学会等又は学会誌等において発表

| | |
|----------------------------|-----|
| ② 研修、学会等又は学会誌等において発表している回数 | 回 |
| ※研修、学会等名 | |
| 実施日 | 月 日 |
| ※学会誌等名 | |
| 掲載日 | 月 日 |
| 発表テーマ | |

③ 視察・実習の実施又は受け入れ

| | |
|-----------------------|-------------------------------------|
| ③ 先進的事業者の視察・実習の実施している | <input checked="" type="checkbox"/> |
| ③ 他の事業所の視察・実習を受け入れている | <input type="checkbox"/> |
| ※先進的事業者名 | 株式会社ハーモニー |
| 実施日 / 参加者数 | 12月25日 5名 |
| ※他の事業所名 | |
| 実施日 / 参加者数 | 月 日 人 |

④ 販路拡大の商談会等への参加

| | |
|-------------------|----------------------------------|
| ④ 販路拡大の商談会等への参加回数 | 2回 |
| ※商談会等名 | イベント大阪 |
| 主催者名 | メッセフランクフルト ジャパン |
| 日時 | 6月17日 |
| 内容 | ビジネス商談、出展企業との交流促進による新たなビジネスの創出促進 |

⑤ 職員の人事評価制度

| | |
|--------------------|-------------------------------------|
| ⑤ 職員の人事評価制度を整備している | <input checked="" type="checkbox"/> |
| ⑤ 当該人事評価制度を周知している | <input checked="" type="checkbox"/> |
| 人事評価制度の制定日 | 3年5月1日 |
| 人事評価制度の対象職員数 | 273名 |
| うち昇給・昇格を行った者 | 273名 |
| 当該人事評価制度の周知方法 | 紙面にて |

⑥ ピアサポーターの配置

| | |
|-----------------------------------|-------------------------------------|
| ⑥ ピアサポーターを配置している | <input checked="" type="checkbox"/> |
| ⑥ 当該ピアサポーターは「障害者ピアサポーター研修」を受講している | <input checked="" type="checkbox"/> |
| ※配置期間 | 4月1日～3月31日 |
| 就業時間 | 9:00～18:00 |
| 職務内容 | 職業指導員 |

⑦ 第三者評価

| | |
|-----------------------------------|-------------------------------------|
| ⑦ 前年度末日から過去3年以内に福祉サービス第三者評価を受けている | <input checked="" type="checkbox"/> |
| ※評価を受けた日 | 令和4年9月30日 |
| 第三者評価機関 | 一般社団法人ば・まる |

⑧ 国際標準化規格が定めた規格等の認証等

| | |
|-----------------------------------|--------------------------|
| ⑧ 国際標準化規格が制定したマネジメント規格等の認証等を受けている | <input type="checkbox"/> |
| ※認証を受けた日 | 月 日 |
| 規格等の内容 | |

(※) 実績のうち1事例を記載



各項目について適宜、実績がわかる情報を追加すること。

先進的事業所の視察報告書（支援力向上のための取組）

| | |
|------|-----------------------|
| 事業所名 | 株式会社スミセイハーモニー |
| 住 所 | 大阪市中央区城見 1 丁目 4 - 3 5 |
| 電話番号 | 06-6937-1490 |

| | |
|-------|-------|
| 事業所番号 | |
| 管理者名 | 吉満 方子 |
| 対象年度 | 令和5年度 |

視察・見学の概要

| | |
|---|---|
| <p><活動内容></p> <p>視察場所 住友生命大阪本社ビル6階、7階</p> <p>実施日程 令和5年12月25日（月） 15：00～</p> <p>参加者数 等</p> <p>吉満 山口、西京、加治、永易、末藤</p> | <p><視察の様子></p> <p>活動の様子 6F、7Fが障がい者雇用のフロアになっており、広々とした空間で皆さん業務を行われていた。7～10前後のグループ単位で、業務内容も振り分けられていた。また、フロアごとに障がい特性への配慮もされる等、業務の効率化にも繋がっていた。福祉の国家資格を所持された職員、管理者、OGの方が現場を調整。</p> <p>成果物の写真</p>   |
| <p><目的></p> <p>先進的事業者活動見学 自社事業所の支援力向上と先進的事業者での情報収集</p> | |
| <p><成果></p> <p>実施した結果 実際の職場環境、仕事内容、職員の定着へ向けた取り組みについての説明を受けた。</p> <p>得られた成果 ダイバーシティ推進室の設置により、職員採用から健康管理、合理的配慮への助言等を行われていた。専門資格を持った方が常に常駐され、迅速に対応する事。業務内容を知り尽くされたOGの方たちの存在も大きい。事業所として、業務内容のスペシャリストをいかに確保していくかが課題。</p> <p>課題点</p> | <p>活動内容の追加コメント</p> <p>最初に担当者の方から、スミセイハーモニーとして障がい者雇用に対し、どのようなサポートをしているのかの説明を受ける。その後は、実際に就労されているフロアを案内していただき、仕事内容・職場環境についての説明を受けた。全てを案内していただいたあと、質疑応答の時間もつけていただいた。クリアファイルにデザインされていたキャラクターは、スミセイハーモニー（社内）で募集して採用されたもの。</p> |

視察先の企業等の意見または評価




| | | | |
|---|---------------|------|-------|
| <p>視察した結果に対する意見または評価</p> <p>ダイバーシティ推進室の設置により、職員の支援体制が整っている事で、安心して就労できる環境を維持できている。それ以外にも、委員会活動も活発に行っており、職場環境向上に職員自身の声が反映できる運営方針（参加型）である事。また、障がい者の管理職登用も積極的に行う事で、キャリアアップ制度が明確になっている。</p> <p>今後の事業強化に向けて</p> <p>柱となる業務が各フロアごとに分かれており、内容を細分化しグループ化することで、日々の作業効率を一定に保たれていた。また、進捗状況を見える化することで、全体管理もしっかりと行われていた。レーヴとして、ここまでの規模で行う事は難しいが、グループ化（チーム）した際、共通目標を見える化していく事は今後取り入れていく必要がある。最初から大きくいくのではなく、障がい特性や、業務内容に合わせて、スモールスタートから始めていく事も、定着に向け大事な事だと再確認できた。</p> | | | |
| 視察先企業名 | 株式会社スミセイハーモニー | 担当者名 | 吉満 方子 |

就労継続支援 A 型事業所における地域連携活動実施状況報告書

| | |
|------|------------------------|
| 事業所名 | レーヴ |
| 住 所 | 大阪市中央区内本町1-2-14秀和ビル10階 |
| 電話番号 | 06-6940-0877 |

| | |
|-------|------------|
| 事業所番号 | 2719402378 |
| 管理者名 | 末藤 隆行 |
| 対象年度 | 令和5年度 |

地域連携活動の概要

| | |
|--|--|
| <p><活動内容></p> <p>令和5年、大阪で初めてとなるLLP事業を立ち上げられたCotonaより活動の主旨・方針に対し、レーヴとして参加していく事を決めました。障害福祉についても理解をされており、組合に参加することで、当事業所利用者様の就労先にも結びつく事が期待できる。</p> | <p><活動の様子></p>  <p>写真1 活動の様子の写真</p>   |
| <p><目的></p> <p>組合に加入することで、さまざまな特典（サービス）を受けることが可能。また、Cotonaより依頼を受けて、利用者様への業務としてお願いしていく事も出来る。また、アート作品の制作及びリース事業は当事業所の利用者様の「やりたい事を仕事に」とマッチしている。新たな仕事と障がい者雇用を促進し、地域と関わりながら社会貢献の一環になると考えた。</p> | |
| <p><成果></p> <p>当事業所の利用者様は、人に必要とされるサービスに関われることに誇りを持ち、企業は利用者様が会社にとって必要な存在となり、双方の成長へと繋がっていくことが期待できる。将来的には、Cotonaの組合に参画される企業様との繋がりを持つ事で、就労先（雇用先）にもなっていく。大企業でなくとも、我々中小企業がチームとなることで、障がい者雇用を促進していく事が最終的な終着点となる。</p> | <p>活動内容のコメント：アート（芸術）分野で、創造力・独創性や閃きといった事が、1人でもくもくと作業するのが好きな方にとって、集中力も持続されている。絆HDによる施設外就労先でも、アート事業を行っているのので、興味がある方がいれば、まずは体験出来る環境も整っている。</p> |

連携先の企業等の意見または評価

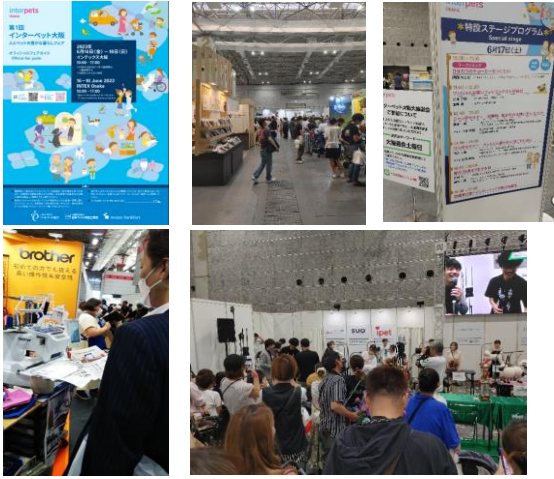
| |
|--|
| <p>有限責任事業組合Cotonaは、「法定雇用率未達成企業をゼロにする」社会を目指す為にも「事業性」のみの追及では、障害者雇用の継続が難しい側面があります。「障害者のやりたい仕事」と「企業の事業性」を両立させることで、共生社会の実現、新しい雇用のカタチの創出が可能になると考えています。今回、就労継続支援事業として利用者様のやりたいことが、2023年に全国認可されたLLP制度を活用し、障がいのある方達にとって本当に働きやすい環境が提供されます。障がい者雇用は一部の人の話ではなく、社会全体で考え、幸せな働き方に向けた気づきへとつながる機会でもあります。そのため、良い取組が増えていくような働きかけと一緒に続けていくことがとても大切です。</p> <p>「やりたいこと」と「事業性」の両立という私共の活躍に共感いただき、「Cotona」の「障害者雇用の促進」への取り組みに参画いただけると幸いです。</p> |
|--|

| | | | |
|--------|----------------|------|-------|
| 連携先企業名 | 有限責任事業組合Cotona | 担当者名 | 吉田 倫子 |
|--------|----------------|------|-------|

就労継続支援 A 型事業所における支援力向上報告書

| | | | |
|------|------------------------|-------|------------|
| 事業所名 | レーヴ | 事業所番号 | 2719402378 |
| 住 所 | 大阪市中央区内本町1-2-14秀和ビル10階 | 管理者名 | 末藤隆行 |
| 電話番号 | 06-6940-0877 | 対象年度 | 令和5年度 |

販路拡大の商談会等への参加

| | |
|---|---|
| <p><活動内容></p> <p>インターハット大阪 ～人とハットの豊かな暮らしフェア～</p> <p>活動場所 インテックス大阪</p> <p>実施日程 2023年6月17日(土)13:00～</p> <p>活動目的</p> <p>ビジネス商談</p> <p>出展企業との交流促進による新たなビジネスの創出促進</p> | <p><活動の様子></p> <p>活動の様子の写真</p>  |
| <p><目的></p> <p>活動のねらい 事業所での柱であるものづくり事業の新規開拓</p> <p>事業所にとってのメリット 事業運営の安定化</p> <p>対象者にとってのメリット 幅広い業務内容と、高いクオリティを求められる事によるやりがいアップ</p> | <p>活動内容の追加コメント</p> <p>6月16日～18日にかけて、日本最大級のハットイベントが関西・近畿エリアで初開催された。事業所でSDGsに関連した「ものづくり事業」へ取り組んでおり、こういった商品が求められているのか、また今後の販路開拓も含め流れといった事が知るきっかけとなった。</p> |
| <p><成果></p> <p>実施した結果 出展者による技術関連のプレゼンテーション</p> <p>得られた成果 ハット業界におけるの最新情報・ニーズ</p> <p>課題点</p> <p>ものづくり事業として、ハット用品の商品開発へ進めているが、業界の考え・顧客の声といったマーケティングに對しての情報収集のため他企業との連携・協力が必要。</p> | |

販路拡大に向けた企業等の意見または評価


| | | | |
|--|-------|------|------|
| <p>業務用刺繍ミシを使用し、商品に差をつけるオーダーメイドサービスを可能にしていく。誰が行っても同じクオリティの製品を仕上げていくため、ミシに新しい機能を搭載させた。刺繍データを簡単に、イラストや写真をPCデータに取り込み刺繍データへ変換。ライカミシが縫製物と刺繍データを液晶パネルに映し出すことで、仕上がりのイメージ確認が可能となっている。また、幅広い素材にも対応できるためのオプションもニーズにあわせて充実させている。こういった機能を用いる事で、多彩なアイデアを形にして、商品やサービスの価値を高めていく。</p> <p>今後の支援力強化に向けた課題</p> <p>A型事業所単体での商品開発・技術だけでは他社と対抗していく事にどうしても差がついてしまう。今回のような商談会へ積極的に参加していくことで、設備に関する情報収集が行え、無理だと諦めることなく自由な発想にて刺繍商品に付加価値のある開発に繋げていく必要がある。</p> | | | |
| 企業名 | 堺ミシ商会 | 担当者名 | 中埜博行 |

就労継続支援 A 型事業所における支援力向上報告書

| | |
|------|------------------------|
| 事業所名 | レーヴ |
| 住 所 | 大阪市中央区内本町1-2-14秀和ビル10階 |
| 電話番号 | 06-6940-0877 |

| | |
|-------|------------|
| 事業所番号 | 2719402378 |
| 管理者名 | 末藤隆行 |
| 対象年度 | 令和5年度 |

販路拡大の商談会等への参加

| | |
|--|---|
| <活動内容> 活動場所 マイドームおおさか 1～3階展示ホール 実施日程 2023年10月18日(水)9:30～17:00 2023年10月19日(水)9:30～16:00 活動目的 新しいビジネスパートナー開拓 出展企業との交流促進による新たなビジネスの創出促進 | <活動の様子> 活動の様子の写真 画像  |
| <目的> 活動のねらい メタバース領域での新たなビジネスの創出 事業所にとってのメリット 社内コミュニケーションの円滑化 対象者にとってのメリット 実際にメタバースに触れ理解の解像度を高め、市場/競合の動向や事例をキャッチアップ可能。 | 活動内容の追加コメント そもそも自社のどのような課題を解決したいのか、課題解決の方法としてメタバース活用が適しているのか？といった事業内容との関わりや工程の検討をしっかりと行うことが重要。 計画と実行のプロセスを迅速に行い、仮説立案・実行・検証・施策立案のサイクルを繰り返すことが、新規事業計画を机上の空論で終わらせないための重要なポイントである。 |
| <成果> 実施した結果 出展者による技術関連のプレゼンテーション 得られた成果 自由な行動や表現の可能性 課題点 メタバースにより自由度が高く活用方法が広がる反面、セキュリティ・NFT関連の法律への理解。 | |

販路拡大に向けた企業等の意見または評価



| | | | |
|---|------------|------|-------|
| 企業からの意見または評価 事業経営・運営していくにあたって新規取引や商品の認知度をどのようにアップしていくのか。その手段として第3の商空間として新たな市場開拓ができるメタバースの活用が有効である。既存事業の拡張や新規事業の他に宣伝、広告、プロモーションなどのデジタル販促としての利用ができるので、効果がさらに期待できます。 今後の支援力強化・販路拡大に向けた課題 他社との差別化、市場変化への対応といった部分を強化しながら、オンラインやメタバースによる自由度が高い現実の世界では提供できない「感情的価値」を共有できる。そのために企業としての独自性、競争優先位の確立が必要となってくる。 | | | |
| 企業名 | 株式会社コムフォート | 担当者名 | 武田 真司 |

就労継続支援 A 型事業所における支援力向上報告書

| | |
|------|------------------------|
| 事業所名 | レーヴ |
| 住 所 | 大阪市中央区内本町1-2-14秀和ビル10階 |
| 電話番号 | 06-6940-0877 |

| | |
|-------|------------|
| 事業所番号 | 2719402378 |
| 管理者名 | 末藤隆行 |
| 対象年度 | 令和5年度 |

販路拡大の商談会等への参加

| | |
|---|---|
| <p><活動内容></p> <p>活動場所 マイドームおおさか 1～3階展示ホール</p> <p>実施日程 2023年10月18日(水)9:30～17:00 2023年10月19日(水)9:30～16:00</p> <p>活動目的 新しいビジネスパートナー開拓 出展企業との交流促進による新たなビジネスの創出促進</p> | <p><活動の様子></p> <p>活動の様子の写真 画像</p>   <p>活動内容の追加コメント 今後は定期的に着物生地や帯の買い付けが必要であるが、2024年に船場センタービルへ移られる。ものづくり事業およびアート商品開発に使用する着物生地等の購入先として、ビジネスでの関係を構築できればと思いました。</p> |
| <p><目的></p> <p>活動のねらい ビジネスチャンスの拡大、企業間における幅広い交流</p> <p>事業所にとってのメリット 販路の開拓等を行う展示商談会</p> <p>対象者にとってのメリット 技術力や企画力のアピール、製品、商品、サービス等、大阪府内の優秀な中小企業の取り組みを知る。</p> | |
| <p><成果></p> <p>実施した結果 出展者による技術関連のプレゼンテーション</p> <p>得られた成果 同業他社の製品を見ることで、自社製品の企画に活かせるものを発見できた。</p> <p>課題点 福祉事業で導入する際、安定した販売ルート確保。</p> | |

販路拡大に向けた企業等の意見または評価

| | | | |
|---|----------|------|------|
| <p>企業からの意見または評価</p> <p>世界に誇る老舗西陣織の匠の技と現代のコンピューター技術の結合によって生まれたのが「西陣美術織物」です。この精密な織物は今までに表現出来なかった文様や絵柄を写実に表現できるようになりました。この革命的な織物を使って絵画・肖像画の掛け軸・額が付加価値のある商材として完成いたしました。</p> <p>今後の支援力強化・販路拡大に向けた課題</p> <p>今年度よりアート作品創作を新規事業として行っており、着物や帯をリメイクした作品づくり・芸術作品の創作といった取り組みに対して、非常に参考とさせていただくことが出来ました。日本文化として歴史のある着物生地を現代アートと組み合わせ、国内だけではなく海外にも発信していくため、まずは安定した供給・販売ルート確保。</p> | | | |
| 企業名 | NAGOMI企画 | 担当者名 | 増谷 保 |